

# 第1号議案 2013年度事業報告（案）

（平成25年4月1日～平成26年3月31日）

## I ひろしまNPOセンターのこの1年

2012年度に中期長期ビジョン（第Ⅰ期ホップ2013年度～2015年度、第Ⅱ期ステップ2016年度～2018年度、第Ⅲ期ジャンプ2019年度～2021年度）の策定を行った。2013年度は、その第Ⅰ期のスタートとなったが、ビジョンの浸透やロードマップの策定も出来ていない中での出発となった。また、八丁堀事務所（本部・共同事務所）に加え、県民文化センター大学連携室の開設にともない、賃料や電話機設置、机椅子などの備品整備等で支出が増える一方、大学連携室の有効活用による収益増加につながらないなど収支のバランスが思うようにいかなかった。会費収入や寄付収入の増額を図る予定が、今季の委託事業等の実行に追われ自己財源としての会費（会費収入は微増）寄付収入増額の成果を挙げる事ができなかった。自主活動としてのネットワーク構築については、NGOのネットワーク、介護系団体のネットワーク構築に取り組んだ。

## II センターの運営に関する事項

### 1. 通常総会の開催

第15回 2013年5月11日（土） 14:00～16:30 正会員159名中90名出席（うち65名委任）  
 会場 県民文化センターサテライトキャンパスひろしま6階（広島市中区大手町1丁目5-3）  
 内容 (1)2012年度事業報告・決算 (2)2013年度事業計画・予算 (3)2013年度役員一部改選

### 2. 理事会の開催

第1回 2013年4月22日（月） 16:00～18:00 12名中 5名出席（他監事2名出席）  
 会場 県民文化センターサテライトキャンパスひろしま6階（広島市中区大手町1丁目5-3）  
 議題 (1)2012年度事業報告・決算 (2)2013年度事業計画・予算  
 (3)2013年度の役員一部変更 (4)その他（総会日程等）

第2回 2013年5月11日（土）12:00～13:30 12名中 6名出席（他監事1名出席）  
 会場 県民文化センターサテライトキャンパスひろしま6階（広島市中区大手町1丁目5-3）  
 議題 (1)2012年度事業報告・決算 最終確認 (2)2013年度事業計画・予算 最終確認  
 (3)2013年度役員一部改選 最終確認

第3回 2013年12月26日（木）17:00～18:50 12名中 9名出席（他監事1名出席）  
 会場 県民文化センターサテライトキャンパスひろしま6階（広島市中区大手町1丁目5-3）  
 議題 (1)事務局より2014年度に向けたワーキング報告・提案  
 (2)2013年度事業の進捗状況・2014年度事業計画・予算案の方針・理事改選について

**3. 組織運営（役員・プロジェクトチーム・事務局）**

＜役員（理事・監事）＞2012 年度のガバナンスならびに役員体制

代表理事	安藤 周治	NPO 法人ひろしまね 理事長	県北部
副代表理事	三好 久美子	余暇生活開発士	県東部
副代表理事	山本 一隆	中国新聞社会事業団理事長	県西部
専務理事	中村 隆行	センター長	
	山本 祐二	事務局長	
理事	五百竹 宏明 伊木 剛二 児玉 宏 竹野 宗彦 茶山 ちえ子 村田 民雄 北島 國廣 坂本 和子	県立広島大学経営情報学部 准教授 広島商工会議所 総務部長 NPO 法人コーチズ 代表理事 中国経済連合会 部長 NPO 法人 WAC 広島ふれあいセンター 理事長 NPO 法人 e&g 研究所 理事長 広島県労働者福祉協議会 事務局長 NPO 法人キャリアネット広島 理事長	学識経験者 経済団体 NPO 経済団体 NPO NPO 労働福祉団体 NPO
監事	久笠 信雄 藤川 晴基	弁護士 税理士・広島経済大学 非常勤講師	

＜事務局＞ ※センター職員の人材育成

(1) スタッフ会の開催 定期的開催

(2) 事務局体制 2013 年 4 月 1 日（日） 12 名（常勤 11 名、非常勤 1 名）

2014 年 3 月 31 日（日） 14 名（常勤 13 名、非常勤 1 名）

**Ⅲ センターの事業に関する事項****1. 情報収集提供事業**

ニュースレター等の発行

「ニュースレター」の発行ができていないが、広島県内 NPO 法人及び会員に対して、全国及び広島県内の NPO に関する有用な情報を提供・送付（6回）。

Web による情報提供

	HP の運営	facebook の運営	ブログの運営
情報提供	事業情報提供（110 件） 助成金等情報（59 件）	投稿数（246 件）	投稿数（27 件）
閲覧数	閲覧者数（29,380 件） 閲覧者内訳（新規 18,598 件、リピーター 10,782 件） 問い合わせ件数（54 件）	「いいね」（469 件） 閲覧者数（40,243 件）	訪問者数（5,810 件）

## HPへの外部評価

評価内容の説明	所見	点数 (5段階)
集客(訪問数)の評価	訪問数は、年間数値としては多くの訪問数があるが、夏をピークに徐々に減ってきている。facebookからの流入をもっと増やしていけば、自然と全体の訪問数は上がってくる。	4
内容の評価	滞在時間も各記事の閲覧数も高い。遷移している内容から「NPO」を知らないユーザーも多く流入してきている。NPO活動の情報発信としては成功していると言える。	4
HPを利用した問い合わせ数の評価	情報発信はできているが、次へのアクション(問い合わせ等)を増やしていくことが、次への課題。「情報を見る」→「次の具体的なアクションの提案」をしていき、問い合わせ等につながるようにしていく。	3

## HP訪問者の内訳

	期間中の訪問数	月平均	構成比
訪問数合計	29,380	2,448	100%
検索サイトからの訪問	21,219	1,768	72%
外部リンクからの訪問	2,823	235	10%
直接訪問	4,039	337	14%
facebookからの訪問	1,299	108	4%

新規訪問割合	63.30%
1人の閲覧ページ数	3.79
平均滞在時間	1:45
直帰率	53.75%
1分以上滞在の割合	19.19%
3分以上滞在の割合	9.18%

## (4) ピースアーチひろしま・ピースフィールド

## ■イベント概要

World Peace Concert “HIROSHIMA” 2013 期間中の8日間、平和貢献活動に取り組んでいる企業、各種団体、NPO、NGOなど協力を得て、広島グリーンアリーナ周辺で開催しました。

このイベントは参加いただく団体と来場者の交流を通じて、飢餓、貧困、疾病、災害、恵まれない子どもに対する取り組みや地球環境問題を共有し、世界へと発信していくものです。

■主催：ピース・アーチ・ひろしまプロジェクト実行委員会

■期間：平成25年7月27日(土)～8月3日(土)

■会場：広島県立総合体育館／サンクンガーデン／ハノーバー庭園・多目的広場／NTTクレドホール

※期間中、ハノーバー庭園・多目的広場にてNPOブースの出展をした。

## 2. サポート事業

### (1) 拠点提供事業 共同事務所の運営 広島市との協働事業

- ①「NPO・市民活動団体向けの活動拠点を提供する共同事務所事業」（2013 年 4 月～2017 年 3 月）。  
入居団体間ネットワーク構築事業「寄合」の開催

2013 年度入居団体は、以下の 11 団体。期間：2 年（1 年ずつ 2 回延長可能で最大 4 年）

入居団体名	入居時期	退出時期
広島ハーネスの会	2010 年 6 月 12 日	2013 年 2 月 28 日退去
特定非営利活動法人ヒロシマネットワーク	2012 年 12 月 6 日	2013 年 5 月 15 日退去
一般社団法人広島県華僑華人総会	2011 年 4 月 15 日	2013 年 5 月 31 日退去
特定非営利活動法人キッズ NPO	2012 年 6 月 1 日	2013 年 5 月 31 日退去
特定非営利活動法人ひろしまジン大学	2010 年 1 月 1 日	2013 年 6 月 30 日退去
Free The Children 広島支部	2012 年 11 月 1 日	2013 年 8 月 31 日退去
夢現大学	2009 年 11 月 1 日	2013 年 10 月 31 日退去
特定非営利活動法人ひろしまヒューマン	2011 年 6 月 1 日	2015 年 5 月 31 日⇒延長可
障害者年金ヘルプデスク	2013 年 5 月 16 日	
ピアグループよこつながり	2013 年 7 月 1 日	
一般社団法人百人邑	2013 年 9 月 23 日	

### ②レターボックス

利用団体	利用開始時期	備考
夢現大学	2013 年 11 月 1 日	
ぼちぼちいこうねっと	2013 年 11 月 1 日	

### (2) 相談事業

- ・「職会館事務所」における相談事業（随時）…NPO 法人設立、助成金申請相談、財務会計等の相談に対応。

内 容	件 数	団体数	内 容	件 数	団体数
法人設立相談	15	11	運営相談	11	11
資金調達相談	6	6			
助成金申請相談	11	11	計	43 件	39 団体

## (3) 資金〔協賛・寄付〕・什器等提供事業

※広島県新しい公共支援事業「中間支援機能強化事業」における「資金循環を活性化する仕組みの構築」

①ひろしま NPO 活動奨励賞 ※今年度は協賛企業がなく、休止。

## ②中国ろうきんNPO立上げ助成金及びNPO 寄付システム

◆中国ろうきんNPO立上げ助成金〔運営経費10%以内〕

2014年1月31日（金）〆切で募集し、2014年2月26日（水）ひろしまNPOセンター大学連携室で審査委員会を開催。「応募団体17団体中4団体に75.9万円の助成を決定。2014年3月19日（水）ひろしまNPOセンター大学連携室（県民文化センターサテライトキャンパスひろしま6階）にて、助成金配分式を行った。

<審査委員>（長）山本恵由美（もりメイト倶楽部Hiroshima副理事長）、三好久美子（余暇開発士）  
金谷信子（広島市立大学国際学部准教授）、五百竹宏明氏（県立広島大学准教授）  
高田孝利氏（中国労働金庫広島県営業本部本部長）  
中村隆行（NPO法人ひろしまNPOセンター専務理事）

分野	配分団体（NPO法人）	所在地	配分額
子どもの健全育成	NPO法人フリースクール木のねっこ	広島市安佐南区	200,000
	NPO法人はびままクローバー	尾道市	159,000
まちづくり	NPO法人湯来里守機構	広島市佐伯区	200,000
	NPO法人みはらまちづくり兎っ兎	三原市	200,000
合計	4団体		759,000

◆中国ろうきんNPO寄付システム〔運営経費20%以内〕

2014年2月21日（金）〆切で募集し、2014年2月26日（水）ひろしまNPOセンター大学連携室で審査委員会を開催。「通常枠」のみで、応募団体28団体中17団体に140万円の助成を決定。2014年3月19日（水）ひろしまNPOセンター大学連携室（県民文化センターサテライトキャンパスひろしま6階）にて、助成金配分式を行った。

<審査委員>（長）山本恵由美（もりメイト倶楽部Hiroshima副理事長）、三好久美子（余暇開発士）  
金谷信子（広島市立大学国際学部准教授）、五百竹宏明氏（県立広島大学准教授）  
高田孝利氏（中国労働金庫広島県営業本部本部長）  
中村隆行（NPO法人ひろしまNPOセンター専務理事）

## &lt;通常枠&gt;

分野	配分団体（NPO法人）	所在地	配分額
保健・医療・福祉	NPO法人家族と教育を考える会	福山市	100,000
	NPO法人看護アカデミア幸	廿日市市	100,000
	NPO法人陽だまり	東広島市	100,000
社会教育	NPO法人SPICA	広島市安芸区	50,000
人権・平和	NPO法人宅老サービス事業びっばら	三原市	50,000
農山漁村・中山間地域支援	NPO法人いきいき農業応援し隊	広島市安佐南区	100,000
NPO支援	NPO法人善菊会	三次市	50,000
	NPO法人森のおさるさん	三原市	50,000
環境保全	NPO法人地球緑化支援グループ	広島市佐伯区	100,000

国際協力	NPO 法人ベトナム友の会ーヒロシマ	広島市安佐北区	50,000
男女共同参画	NPO 法人キッズNPO	廿日市市	50,000
地域安全	NPO 法人学習支援ヴァパウス	福山市	100,000
	NPO 法人コミュニティリーダーひゅーるぽん	広島市安佐南区	100,000
職業能力	NPO 法人広島シューレ	広島市西区	100,000
	NPO 法人広島自閉症協会	広島市東区	100,000
子どもの健全育成	NPO 法人日本タッチ・コミュニケーション協会	広島市中区	100,000
	NPO 法人三次おやこ劇場	三次市	100,000
合計	17 団体		1,400,000

### ③ひろしま NPO サポート倶楽部

ひろしま NPO サポート倶楽部 [ 運営経費 20% ]

2013 年度は、昨年度に引き続き、2014 年 2 月 21 日（金）×切で募集し、2014 年 2 月 20 日（水）2014 年 2 月 26 日（水）ひろしま NPO センター大学連携室で審査委員会を開催。応募団体 24 団体中 4 団体に総額 70 万円の助成を決定。2014 年 3 月 19 日（水）ひろしま NPO センター大学連携室（県民文化センターサテライトキャンパスひろしま 6 階）にて、助成金配分式を行った。

挨拶・授与：五百竹宏明（県立広島大学経営情報学部准教授）

<選考委員>（長）五百竹宏明（県立広島大学経営情報学部准教授）

金谷信子（広島市立大学国際学部准教授）、三好久美子（余暇開発士）

山本恵由美（もりメイト倶楽部 Hiroshima 副会長）

中村隆行（NPO 法人ひろしま NPO センター専務理事）

配分団体（NPO 法人）	所在地	配分額
NPO 法人グリーンラインを愛する会 「市民の森」環境整備事業（駐車場造成工事）	福山市	200,000
NPO 法人みんなのわが家 「障がい者の家族や介護者、地域のお年寄りに対する交流サロンの開設及び悩み事お相談活動」	広島市佐伯区	100,000
NPO 法人 INE OASA 「わさ環境公園周辺竹林整備事業」	山県郡北広島町	200,000
NPO 法人上殿未来会議 「中山間地域空き家活用ネットワーク構築プロジェクト」	山県郡安芸太田町	200,000
合計	4 団体	700,000

## ④広島海の環境づくりプロジェクト2013「海の環境保全活動助成金」

(株)アサヒビール「広島海の環境づくりプロジェクト」

## ■事業目的

2010年度から数えて4年目となる2013年度の「広島県の海の環境づくりプロジェクト」として、県内にある海や河川、または、河口付近において、環境保全活動を行っている地域の団体・グループ、NPO等、各種団体を支援することによって広島県の海の環境保全を行うことを目的に実施した。

## ■実施内容

NPO法人ひろしまNPOセンターが、アサヒビール株式会社「アサヒスーパードライ うまい!を明日へ!プロジェクト」により受領した寄付金総額 3,700,262円を原資として、公募による助成を行った。なを、公募の方法は、広島県内全市町、広島県内全NPO法人、広島県内公共施設などへ募集要項を送付したほか、ひろしまNPOセンターのWebサイトにて、告知および申請受付を行った。

## ■実施体制

運営委員(助成審査委員)

委員長	中越信和(広島大学大学院教授)
委員	金谷信子(広島市立大学准教授)、山中裕之(広島県環境政策課長) 松原裕樹(EPO ちゅうごく)
オブザーバー	山下伸夫(アサヒビール株式会社)
アドバイザー	松尾健司(環境カウンセラー)
事務局	中村隆行・山崎肇・樽山尚幸(NPO法人ひろしまNPOセンター)

運営委員会(助成審査委員会) 第1回 3月18日(月)、第2回 6月21日(金) 審査会  
第3回 8月30日(金)

「広島海の環境づくりプロジェクト2013(2013年7月20日~2014年6月20日)」

申請件数29件、うち24団体24事業を採択 総額約2,856,309円

・海をまもる地域活動 上限10万円

NPO法人フリースクール・グロービー 「海の大切さを知り、海を守る子どもたちの育成活動」	広島市安芸区	100,000
瀬戸田生口地区子ども会育成連合協議会 「2013年度、海はみんなの宝物大作戦」	尾道市	100,000
江田島市立三高小学校 「里海学習『三高の浜をきれいに大作戦!』」	江田島市	100,000
福山市立内浦小学校 「ふるさと田島一見たい知りたい探検隊」	福山市	65,000
福山市立能登原小学校 「『クリーン作戦』能登原エコキッズ」	福山市	76,000
特定非営利活動法人広島シューレ 「きれいな海へ河口周辺清掃活動」	広島市西区	67,000
廿日市市大野第10区自治会 「鳴川海岸一斉清掃」	廿日市市	32,500
「おのピカ」尾道をピカピカにきれいにする会	尾道市	98,000

「尾道ウォークフロントクリーンアップ作戦」		
呉市音戸地区公衆衛生推進協議会 「海辺の教室」	呉市	84,100
NPO 法人江田島カヌークラブ 「江田島の海を見守り隊」	江田島市	96,500
満月清掃会 「海にありがとう～！」	広島市佐伯区	40,000
尾道市立浦崎小学校 「浦崎里海学習」	尾道市	65,000
尾道市立高見小学校 「海と山、大好き向島」	尾道市	75,000
阿多田島漁業協同組合 「阿多田島漁協海浜清掃」	大竹市	63,000
永田川カエル倶楽部 「永田川環境保全再生継続 25 年目目標プロジェクト 11」	江田島市	82,309
豊浜町公衆衛生推進協議会 「海の生物調査」	呉市	40,000

## ・海をつくる本格活動 上限 50 万円

NPO 法人元気っ子プロジェクト 「田島の海をきれいに！プロジェクト」	呉市	500,000
--	----	---------

## ・海につながる県内活動 上限 20 万円

エコロジー研究会ひろしま 「25 年度 太田川『リバー・エコロジー大学』」	広島市中区	150,000
宮島の磯・生き物調査団 「広島県及び瀬戸内海の磯・干潟生物調査及び植生・景観調査と漂着ゴミの調査回収」	廿日市市	200,000
栗原町内会連合会 「河川清掃活動等環境整備活動」	尾道市	150,000
NPO 法人上殿未来会議 「山ゆりの里づくりプロジェクト」	安芸太田町	110,000
芦田川環境マネジメントセンター 「芦田川きれい☆きれいプロジェクト『河川浄化チャレンジ月間』」	福山市	200,000
NPO 法人瀬戸内里海振興会 「大都市に残る貴重な自然・元宇品を新たな視点で学習し、保全するプログラムの開発・実施」	広島市中区	200,000
能美脱温暖化未来会議 「第 5 回 鹿川湾海の環境再生プロジェクト 2013」	江田島市	161,900

計 24 団体 24 事業		2,856,900
---------------	--	-----------

## ⑤新たな企業との連携プログラム

## SAVE JAPAN プロジェクト

株式会社損害保険ジャパン、日本 NPO センターとの連携事業「SAVE JAPAN プロジェクト」  
NPO 法人西中国自然史研究会へ 50 万円を助成

・第 1 回 古川のいきもの観察会（平成 25 年 6 月 9 日（日）場所：山県郡北広島町

■実施日：2013 年 6 月 9 日（日）

■実施場所：古川（安佐南区東原）太田川緑地内の公園のそば

■参加者数：37 名

■実施団体：NPO 法人西中国山地自然史研究会

■協働団体：NPO 法人ひろしま NPO センター

認定 NPO 法人日本 NPO センター

■協賛：株式会社損害保険ジャパン、日本興亜損害保険株式会

■ふりかえり

古川の水生生物を捕まえて観て聞いて触るプログラム。街中を流れる川にも多くの希少生物種（ウナギ、アブラボテ、カジカ、ウキゴリ、テナガエビ、トノサマガエル等）が棲んでいるということに参加者に知ってもらうことができた。そのことで地域の環境に対する意識向上につながった。例えば、ごみは持ち帰る、水を汚さない、遊び場として活用するなどが挙げられる。

・第 2 回 モリアオガエル観察会

■実施日：2013 年 6 月 15 日（土）

■実施場所：北広島町豊平の上石地区の農業用ため池

■参加者数：29 名

■実施団体：NPO 法人西中国山地自然史研究会

■協働団体：NPO 法人ひろしま NPO センター

認定 NPO 法人日本 NPO センター

■協賛：株式会社損害保険ジャパン、日本興亜損害保険株式会

■ふりかえり

全国各地で天然記念物として指定されているモリアオガエル。モリアオガエルが生息できる環境と人々の生活は密接に関係している。かつてから野菜や穀物を作るうえでの水不足を防ぐため、ため池が整備されており、そこにモリアオガエルが生息している。自分達の生活を支えている食や農、文化を守ることは生物を守ることに繋がると参加者へ理解された。

・第 3 回 カワシンジュガイ探検隊

■実施日：2013 年 7 月 28 日（日）

■実施場所：北広島町の山あいの小川

■参加者数：8 名

■実施団体：NPO 法人西中国山地自然史研究会

■協働団体：NPO 法人ひろしま NPO センター

認定 NPO 法人日本 NPO センター

■協賛：株式会社損害保険ジャパン、日本興亜損害保険株式会

■ふりかえり

カワシンジュガイは温暖化の影響で生息地が追いやられている現状にある。アブラボテはカワシンジュガイに卵を産み付け、カワシンジュガイはサツキマスのエラに寄生し成長する共生関係がある。そのことが参加者へ理解され、生き物たちと人間の関わり方にも関係があることが理解された。

・第4回 サツキマス保全の試み

- 実施日：2013年9月28日(土)
- 実施場所：北広島町の山あいの川
- 参加者数：12名
- 実施団体：NPO 法人西中国山地自然史研究会
- 協働団体：NPO 法人ひろしまNPOセンター  
認定NPO 法人日本NPOセンター
- 協賛：株式会社損害保険ジャパン、日本興亜損害保険株式会
- ふりかえり

人工的な農業堰が整備されサツキマスが産卵場所まで遡上できなかつたり、温暖化の影響でアオサギが飛来するようになり捕食されるため産卵に至っていない。多くのサツキマスが遡上を始める二週間前にあたる今回は、川の上部に鳥の飛来を防ぐためのテグスを張り、産卵する場所の川底にある大きな石を取り除く等の整備を行った。この時、すでに遡上してきているサツキマスが観られたため、産卵につながったであろうと参加者の喜びはひとしおでした。

・第5回 千町原の草原保全、秋の草刈り

- 実施日：2013年11月23日(土)
- 実施場所：北広島町の千町原
- 参加者数：53名
- 実施団体：NPO 法人西中国山地自然史研究会
- 協働団体：NPO 法人ひろしまNPOセンター  
認定NPO 法人日本NPOセンター
- 協賛：株式会社損害保険ジャパン、日本興亜損害保険株式会
- ふりかえり

かつて飼料や建築材料等に利用されていた草原の草。今回は草刈りがされず草原から森へ変わりつつある千町原の雑木の伐採作業を行った。樹木を伐採したことで草原でしか生きられない植物(コオニユリ、ワレモコウ、マツムシソウなど)や野鳥(ミヤマホオジロ、カッコウ、ホオアカなど)が保護され、自然写真の撮影や野鳥の観察などで訪れる方に楽しんでいただけるすばらしい景観の維持につながった。

フレスポ西風新都社会貢献活動～本・CD提供による寄付配分事業～

大和リース株式会社

- 実施日：2013年7月21日(日)
- 実施場所：フレスポ西風新都店の夏祭りにNPOブースを出店
- 協働団体：NPO 法人コーチズ
- 寄付受入額 31,673円

- 実施日：2013年12月15日(日)
- 実施場所：フレスポ西風新都店の夏祭りにNPOブースを出店
- 協働団体：
- 寄付受入額 6,000円

## ⑥広島県共同募金会「社会課題解決プロジェクト」

広島県共同募金会「平成25年度社会課題解決プロジェクト」 1月～3月実施への協力

募金目標額 : 30,000,000円  
 募金件数 : 3,016件  
 募金額 : 29,007,939円

**広島県共同募金会「限界集落支援と若者就労支援マッチング事業」**

■事業目的

県内には、集落を維持する事が困難な過疎地域が多数存在しており、これら限界集落での生活の機能維持や耕作放棄地や里山の整備維持管理は、減災・防災、食の問題、河川環境など都市部にすむ生活者にとっても、重要な課題となっている。

これらの限界集落では、少子高齢化の波を直接こうむり、生活をしていく上で必要な、地域を維持していく人材の確保が困難な状況である。

一方、急激に変化する社会にあって、ニート・フリーターや路上生活者等、生活困難者の社会的包含、社会参加促進が重要な課題となっており、この二つの課題につき、マッチングによる、仕事おこし・社会参加と人材の確保という解決策を実現し、将来に夢と希望の持てる社会づくりに寄与することを目的とする。

■事業内容

- (1) 空き家バンクや耕作放棄地の把握や、U・Iターンを積極的に受け入れているような自治体等を受け入れ先として開拓する。
- (2) 中山間地域での就労機会や場所を必要としており、生活や就労に意欲のあるニート・引きこもり、ホームレス等の若者を募集する。
- (3) 受入側の体制と若者とのミスマッチを防ぐために、コーディネートする。
- (4) 若者の農林業等の研修や実施体験等のプログラムの開発と実施をする。

■検討委員会の開催

第1回検討委員会 平成25年 5月21日(火)

第2回検討委員会 平成25年 6月14日(金)

第3回検討委員会 平成25年 7月12日(金)

第4回検討委員会 平成25年11月29日(金)

■『できること&してほしいことマッチング現地視察会』事業の実施

日 時：平成25年12月13日(金)

場 所：広島市安佐北区飯室2126(竹坂ファーム)

参加者：14名(関係者含む)

協力者：地域の方2名

■内 容：青少年ワークサポートセンター広島の若者(就労支援・自立支援を受けている)が実際に農業体験を行っている様子を見学し、意見交換をする。

■課 題：・今後、事業展開するには、ただ体験をさせるだけではなく、その結果彼らに、いかに自信を持ってもらい、収入につなげる仕組みを考えて行く必要がある。

・やはり受け入れ先には、地域とのパイプ役となるキーマンが必要である。

#### ■『お助け隊プログラム・体験会』事業の実施

日時：平成26年 2月19日(水)

場所：山県郡安芸太田町大字横川(恐羅漢スノーパーク)

参加者：24名(関係者含む)

協力者：特定非営利活動法人上殿未来会議

株式会社恐羅漢

横川自治会

安芸太田町

安芸太田町社会福祉協議会

■内容：安芸太田町の小規模高齢化集落において、ニート・フリーター等の生活困難者が活動することによって、社会参加促進の契機とすることの可能性を検討する。

■課題：実際に現地に入って、地元の方々と一緒に作業をすることによって、限界集落の実態が少しは感じてもらったのではないかと思う。また、除雪作業など真剣に取り組む姿を見ると、きっかけさえあればチャンスは、まだまだあると感じた。やはり、地域には、コーディネーターとして受け入れてくれる人材が必要である。

#### (4) ひろしまイーパーツリユースPC寄贈プログラム

主催：認定特定非営利活動法人イーパーツ、特定非営利活動法人ひろしまNPOセンター、

ひろしま市民活動ネットワーク Heart to Heart

寄贈式10月6日(日) 場所：サテライトキャンパスひろしま6階

19団体に対して、パソコン29台を寄贈

##### 【寄贈団体】

NPO法人フリースクール・グロービー、NPO法人青竜スポーツクラブ、NPO法人ひろしま女性NPOセンター未来、庄原市山内自治振興区、NPO法人安芸高田市国際交流協会、NPO法人SPICA、NPO法人森のおさるさん、庄原市上高自治振興区、NPO法人中国帰国者・広島友好会、NPO法人びんご聴覚障害者福祉協会、NPO法人百華倶楽部、NPO法人心の絆ネットワーク、NPO法人ポラーノ、NPO法人広島シュール、NPO法人とんからり三次、NPO法人自然環境ネットワーク SAREN、NPO法人陽だまり、NPO法人地球緑化支援グループ、NPO法人アフリカの希望

#### (5) NPO会計研修

##### ・NPO 経理担当者勉強会 ～活動計算書を作ろう！～

主催：特定非営利活動法人ひろしまNPOセンター

協力：社会福祉法人三原市社会福祉協議会

西部会場

会場：ひろしまNPOセンター大学連携室(県民文化センターサテライトキャンパスひろしま6階)

- |                  |             |     |       |
|------------------|-------------|-----|-------|
| ① 平成25年10月11日(金) | 15:00~17:00 | 参加者 | : 16名 |
| ② 平成25年10月25日(金) | 15:00~17:00 | 参加者 | : 12名 |
| ③ 平成25年11月 8日(金) | 15:00~17:00 | 参加者 | : 8名  |
| ④ 平成25年11月22日(金) | 15:00~17:00 | 参加者 | : 4名  |
| ⑤ 平成25年12月 6日(金) | 15:00~17:00 | 参加者 | : 2名  |

## 東部会場

会場：サン・シープラザ3F 第2会議室

- ① 平成25年10月18日(金) 15:00~17:00 参加者 : 4名
- ② 平成25年11月1日(金) 15:00~17:00 参加者 : 0名
- ③ 平成25年11月15日(金) 15:00~17:00 参加者 : 2名
- ④ 平成25年11月29日(金) 15:00~17:00 参加者 : 1名
- ⑤ 平成25年12月13日(金) 15:00~17:00 参加者 : 0名

## 内容

- ・ 活動計算書・貸借対照表・注記 / 収入・収益と支出・費用 / 定款変更
- ・ 事業費・管理費と人件費・その他経費 / 共通経費の按分
- ・ 固定資産の取得・減価償却 / 借入金
- ・ 未収金、未払金 / 複式簿記
- ・ 「その他の事業」と収益事業 / 法人税法の34事業

定員 10名程度

講師 ひろしまNPOセンター経理担当

## ・ NPO 経理担当者勉強会

- ① 平成26年3月12日(水) 15:00~17:00 参加者 : 13名
- ② 平成25年3月26日(水) 15:00~17:00 参加者 : 7名
- ・ 補助金、助成金、委託費の処理の違いと処理方法について
- ・ 現金出納帳の取り扱いについて
- ・ 事業費、管理費の処理、共通費の按分方法について
- ・ 事業別の資料の作り方について
- ・ 質疑応答

## (6) 「伝えるコツ」セミナー助成プログラム2013

主催：特定非営利活動法人ひろしまNPOセンター

協力：認定NPO法人日本NPOセンター

日時：平成26年8月24日(土)

場所：ひろしまNPOセンター大学連携室(サテライトキャンパスひろしま6階)

参加者：20名(関係者含む)

講師：古賀桃子氏(ふくおかNPOセンター代表)

ふりかえり： 分かりやすく丁寧な講義で、自団体の活動を見つめ直す手法や効果的な広報物の作り方のコツなどを伝えるポイントが良くわかった。

パンフレットなど、実物の資料を使ったご説明は非常に分かりやすく、テキストを使うことで要点や進行等がぶれることなく実施できていて、良質な教材の必要性を改めて感じた。

### 3. 調査・研究：政策提言に関する事業

#### （1）人材活用プロジェクト調査事業（廿日市）

##### ■業務目的

シニアが生き生き活躍できる、活力ある社会の形成を実現させる事業の提案を行う。

##### ■業務内容

- ・廿日市市のシニア人材の現状調査
- ・人材活用システムの構築
- ・人材活用システムを運用する組織体の提案

#### （2）環境NGO・NPO活動状況調査・情報提供業務

##### ■業務概要

平成25年度環境NGO・NPO活動状況調査における調査リストの作成及び広報の協力を実施した。

##### ■業務内容

1. 調査対象リスト作成に際しての情報収集
2. 調査対象リスト内容の確認・詳細情報加除修正
3. 調査協力広報

##### ■まとめ

本業務の調査プロセスを通して、北海道環境財団及び中国地方の調査対象団体や中間支援拠点等との情報交流を図ることができ、ネットワークでの連携や新たなつながりの構築を推進することができた。そして、これらの成果が今後の中国地域及び全国で取り込まれる環境保全活動等に寄与するものとして期待することができる。

また、民間・非営利の団体で日本国内において環境保全活動を国際的、全国的に実施している団体から、市町村単位で地域の実績に即して実施している団体までについて、その最新の所在や活動概要等がまとめられた「環境NGO・NPO総覧」は、多様な主体の環境保全活動への参加を促すとともに、環境NGO・NPOの相互の情報交流に役立つものとして、その活用に係る周知や定期的な更新が望まれるものとする。

#### （3）中国地方の中山間地域において、買い物行動を軸に、

#### あらゆる境界の壁を超える生活のしくみづくりプロジェクト

##### ■業務概要

中国地方の「限界集落」と言われている小規模高齢化集落を対象に、中国地方各地域の中山間支援組織等が連携し、地域のアセスメント調査や住民生活ヒアリング調査により生活環境を把握する。

##### ■実施チーム：中国5県の支援と現場の組織による境界の壁を超える生活支援チーム

##### ■業務内容

1. 県境・市町村地域課題プレリサーチ及び事業詳細計画
2. 対象地域の買い物等生活に関する調査
3. 買い物など日常生活基盤課題を中心とした円卓会議
4. 日常生活基盤改善のしくみの運用

##### ■越境のしくみづくりプロジェクト成果報告会

「県境で何が起きているか。～中国地方の境界線での生活課題～」

日時：平成25年2月18日（火） 13：30～16：00

場所：山口県岩国市 岩国市民会館

##### ■内容：・越境の仕組みづくりプロジェクト報告兼取り組み紹介

- ・パネルディスカッション：県境の課題解決のために

## 4. 啓発・研修事業

### (1) 広島県 新しい公共支援事業成果取りまとめ業務

#### ■業務概要

平成23年度、24年度に実施した、新しい公共支援事業の支援対象者やモデル事業実施主体への調査を通じて、事業の成果を取りまとめるとともに、NPO等が取組を発信する発表会を開催した。

#### ■成果取りまとめ

##### ア アンケート調査

・マネジメント研修等受講者  
5月7日 91団体へ送付 回答31団体(回収率34%)

・モデル事業実施主体  
5月7日 11団体へ送付 回答9団体(回収率82%)

##### イ ヒアリング調査

・マネジメント研修等受講者 6月3日～7月31日 28団体

・モデル事業実施主体 6月3日～7月31日 7団体

##### ウ 報告概要

###### [研修受講団体]

- ・約7割の団体が、研修で学んだ理論等を団体内で共有している。  
また、ほぼ半数の団体が、ミッションの再確認や、寄付募集の開始、情報発信の改善に取り組んでいる。
- ・一方、改善のための振り返りや自己評価に取り組んだ団体の割合は低い。(26%)
- ・アンケートやヒアリングでは、社会との関わりや今後の展開を前向きに意識している様子が、数多く見受けられた。

###### [モデル事業実施主体]

- ・約7割の団体で、多様な関係者の協議や連携が進み、また、サービス改善に取り組んでいる。
- ・約8割の団体で、運営スタッフの育成等の人材マネジメントに取り組んでいるが、一方で、財源確保の検討に着手していない団体が過半に近い。
- ・県内の他地域や他県へ波及している事例がある。(福山市多文化共生センター事業)

###### [考察、提言]

- ・研修等の活動基盤強化の取組については、短期間での成果測定が困難である。
- ・モデル事業では、多様なマルチステークホルダーの連携が有効に機能し、地域の変化が生まれた様子が伺えた。一方、明らかに課題が解決した事例は見られず、その把握には、長期間を要するものと思われる。
- ・ひろしまNPOセンターは、NPOを取巻く課題を調査し、長期的に活動基盤強化のための支援に取り組む

#### ■成果発表会

タイトル 「たちまち全員集合！NPOと企業と大学生で創るこれからの共助社会」

日時：平成25年9月17日(火) 10:40～17:00

場所：サテライトキャンパスひろしま(広島市中区)

内容：ブース出展、社会貢献活動紹介(NPO 団体、企業 社、学生 団体)

事例発表 NPO 2団体(モデル事業、研修受講 各1団体)

企業 2企業、学生団体 1団体

参加者 約120名

## (2) 広島県 子育て支援・児童虐待未然防止に係る地域住民啓発事業

## ■事業趣旨

幅広い世代による身近な子育て支援を促進し、子育て家庭の不安や負担を軽減するとともに、地域から孤立化を防止するため、地域住民を対象に、子育て支援への関心を高める内容や、子育て家庭への日常的な声かけのほか子育てに関するボランティアへの参加や住民主導の支援の場の形成などに関する知識や基礎的なノウハウを提供する内容の講座・研修等を実施する。

## ■対象者

子育て支援に関心のある者とし、年齢、経験等の制限は設けないものとする。ただし、自らの子育て経験を生かせるプラチナ世代等や地域住民への波及効果が期待できる民生委員・児童委員等の参加を特に促すこと。

## ■イベント

実施地域	回数	受講者述べ人数
広島市	2回	12名
呉市	5回	93名
廿日市市	1回	28名
東広島市	5回	205名
福山市	3回	52名
尾道市	3回	31名
世羅町	2回	23名
合計		444名

- ・第1回(呉市第1回)平成25年 8月 6日(火)  
高校生の「あかちゃんふれあい講座」 参加者22名(高校生)
- ・第2回(東広島市第1回)平成25年10月29日(火)  
子ども×子育て×夢Café 参加者26名
- ・第3回(広島市第1回)平成25年11月 6日(火)  
子ども×子育て×おしゃべりCafé 参加者4名
- ・第4(東広島市第2回)回平成25年11月20日(水)  
地域で守る子どもの笑顔「おとなワークショップ」～子どもへの暴力防止のために～ 参加者46名
- ・第5回(廿日市市第1回)平成25年11月22日(金)  
健康ボランティア育成教室「地域ぐるみで子育てを」 参加者28名
- ・第6回(広島市第2回)平成25年12月 4日(水)  
子ども×子育て×おしゃべりCafé 参加者8名
- ・第7回(呉市第2回)平成25年12月12日(木)  
サークル交流会 参加者12名
- ・第8回(世羅町第1回)平成25年12月14日(土)  
みんなでパワーアップ!交流会 参加者8名
- ・第9回(東広島市第3回)平成25年12月17日(火)  
子ども×子育て×夢Café 参加者47名
- ・第10回(世羅町第2回)平成25年12月26日(木)  
みんなでパワーアップ!交流会 参加者15名

- ・第11回(東広島市第4回)平成26年 1月21日(火)  
子ども×子育て×夢Café 参加者54名
- ・第12回(呉市第3回)平成26年 1月23日(木)  
子ども×子育て×ほっとCafé 参加者23名
- ・第13回(福山市第1回)平成26年 1月28日(火)  
発達障害」の理解をすすめるきっかけ連続学習会 参加者18名
- ・第14回(東広島市第5回)平成26年 2月 3日(月)  
子ども×子育て×夢Café 参加者32名
- ・第15回(福山市第2回)平成26年 2月 4日(火)  
「発達障害」の理解をすすめるきっかけ連続学習会 参加者18名
- ・第16回(呉市第4回)平成26年 2月20日(木)  
子ども×子育て×ほっとCafé 参加者20名
- ・第17回(尾道市第1回)平成26年 2月22日(土)  
子ども×わたし×夢café 参加者11名
- ・第18回(尾道市第2回)平成26年 3月 8日(土)  
子ども×わたし×夢café 参加者11名
- ・第19回(呉市第5回)平成26年 3月20日(木)  
子ども×子育て×ほっとCafé 参加者16名
- ・第20回(尾道市第3回)平成26年 3月21日(祝)  
子ども×わたし×夢café 参加者9名
- ・第21回(福山市第3回)平成26年 3月22日(土)  
「気になる子ども」への関わり方～ペアレントメンター入門編～ 参加者16名

### (3) 広島県 消費者行政活性化事業(『食べもののムダをなくそう』プロジェクト)

#### ■事業目的

世界の食料生産量の1/3にあたる13億トンの食糧が毎年遺棄され、世界の穀物需要が逼迫する中、食品ロス(まだ食べられるのに捨てられているもの)の削減は世界的に大きな課題です。一方、発展途上国を中心に9億人以上の多くの人々が、食糧不足・栄養不良の状態にあり苦しんでいます。「もったいない」という言葉の発祥地である我が国においても食品関連事業者から800万トン、一般家庭から約1,100万トン併せて1,900万トンもの食品廃棄物が出されています。そのうち年間500万トン～800万トンは、食べられるのに「食品ロス」として廃棄されています。

食品ロスの発生には、直接的・間接的に様々な要因が関わっています。このような「食品ロス」をなくすには、一人一人が、「もったいない」を意識して、①食材をムダにしない調理方法・献立を工夫する。②買いすぎに注意し、ムダにしない在庫管理を心掛ける③賞味期限の意味を正しく理解して消費するなどの意識啓発を行っていくことが重要です。

このような意識啓発を行い食品ロス削減に取り組むため、関係各位の協力のもとネットワークを構築し「食品ロス」削減にむけた普及啓発の取り組みを展開していくことを目的としています。

#### ■事業内容

- (1) 食品ロス削減の取り組みを普及させるため、関係団体とのネットワークを構築し、取組を普及していくため、必要な調査(アンケート調査)の実施、並びに委員会(協議会)の開催
- (2) 食べきり啓発ツール—学校向け—紙芝居の製作、配布および実演
- (3) 食品ロス削減を目的とした紹介DVDの製作、普及のための実演
- (4) ポスター・チラシの製作配布を行った。

## ■ひろしま食べもののムダをなくそうプロジェクト推進協議会を設置

通称 『“食べる”を考える会』

委員名簿

矢野 泉(谷口泉)	広島大学大学院生物圏研究科准教授
上田 康二	一般財団法人広島県環境保健協会地域支援センター長
川本 季子	公益社団法人広島消費者協会 副会長
原田 佳子	NPO 法人フードバンクあいあいねっと広島 理事長
木村 要子	広島県栄養士協会 部長
山下 洵子	一般社団法人農・食 医同源研究センター 事務局長
狩野美紀子	環境カウンセラー
松原 裕樹	中国環境パートナーシップオフィス (EPO ちゅうごく)
中村 隆行	ひろしまNPOセンター専務理事

## 委員会の開催

設立会議 : 平成25年11月 1日(金) 13:00~15:00

第1回協議会 : 平成25年12月 6日(金) 13:00~15:00

第2回協議会 : 平成25年12月 6日(金) 13:00~15:00

第3回協議会 : 平成26年 1月14日(火) 9:30~11:30

第4回協議会 : 平成26年 3月 3日(火) 14:30~16:30

第5回協議会 : 平成26年 3月11日(火) 13:30~15:30

## ■実施事業

(1) 食べきり啓発ツール—学校向け—紙芝居の製作、配布および実演

(2) 啓発イベント

紙芝居の上演

日時 : 平成25年11月 2日(土) 18:50・20:28

平成25年11月 4日(祝) 10:00・11:38

平成25年11月 6日(水) 14:15・15:53

平成25年11月 8日(金) 17:00・18:38

場所 : シネツイン新天地

鑑賞者 : 延べ

## DVDの上映

「食と農の映画祭」においてドイツで制作された「もったいない」の映画の上映に続いて上映した。

日時 : 平成25年11月 2日(土) 18:50・20:28

平成25年11月 4日(祝) 10:00・11:38

平成25年11月 6日(水) 14:15・15:53

平成25年11月 8日(金) 17:00・18:38

場所 : シネツイン新天地

鑑賞者 : 延べ約800人

**(4) 広島市 交流体験型観光の企画・開発業務****■業務目的**

湯来地区の交流体験型観光を推進し誘客促進を図るため、国民宿舎湯来ロッジ及び民間宿泊施設等も含めて宿泊型ニューツーリズム観光メニューの開発事業を展開するとともに、広島ツーリズム大学の卒業生・受講生や地域住民と連携し、修学旅行等、宿泊を伴う青少年の野外活動を誘致する。

**■業務内容****(1) 観光メニューの開発****① 企画会議の開催**

- ・湯来のまち再生プロジェクト協議会 会議開催 平成25年 4月17日 (水)
- ・湯来のまち再生プロジェクト協議会 会議開催 平成25年 5月14日 (火)
- ・湯来のまち再生プロジェクト協議会 会議開催 平成25年 6月11日 (火)
- ・湯来のまち再生プロジェクト協議会 会議開催 平成25年 7月26日 (金)
- ・湯来のまち再生プロジェクト協議会 会議開催 平成25年 7月30日 (火)
- ・湯来のまち再生プロジェクト協議会 会議開催 平成25年 8月27日 (火)
- ・湯来のまち再生プロジェクト協議会 会議開催 平成25年 9月20日 (金)
- ・湯来のまち再生プロジェクト協議会 会議開催 平成25年10月16日 (水)
- ・湯来のまち再生プロジェクト協議会 会議開催 平成25年10月30日 (水)
- ・湯来のまち再生プロジェクト協議会 会議開催 平成25年11月13日 (水)
- ・湯来のまち再生プロジェクト協議会 会議開催 平成25年12月13日 (金)
- ・湯来のまち再生プロジェクト協議会及び  
西中国山地観光施設等連絡協議会 会議開催 平成26年2月19日 (水) ~2月20日 (木)

**② 「川を遊ぶ」体験プログラム実証実験**

期日 平成25年8月2日 (金) ~8月3日 (土)

講師 HARTアドベンチャーセンター

内容 実践① 装備・川の歩き方を学ぶ。

実践② 「滝を使ったアドベンチャー」

**(2) モニタープログラムの実施**

- ① 実施内容 湯来町の田舎において、修学旅行の目的である「世代を超えた交流」「地域文化・自然に触れる」に加え、「新しいことへの挑戦」という3つのコンセプトを軸に体験プログラムを作成する。プログラムを受けた子供たちへ田舎を知ってもらい、興味をもってもらうことをねらいとする。
- ② 期日 平成25年11月2日 (土)
- ③ 場所 広島市佐伯区湯来町本多田 (上多田集落)
- ④ 参加者 32名 (小学生: 26名・保護者: 6名)
- ⑤ 協力者 上多田町内会連合会・上多田女性会・西方寺

## ⑥ スケジュール

- 10:00 湯来町みどり会館集合  
 10:30 西方寺において説法  
 11:30 古民家「宮本邸」とみどり会館において昼食づくり  
 2班に分かれて、女性会指導のもと、  
 クドで米炊きと、とん汁づくりをする。  
 各自が炊き上がった米でおにぎりをつくる。  
 12:30 昼食  
 13:00 竹のおもちづくり  
 町内会連合会会員(60~80歳代の男性)の指導の下  
 竹ぽっくり・竹馬・竹の一輪挿し、竹トンボを作成。  
 16:00 終了

## ■期待した成果、実績等

## (1) 期待した主な成果

保護者からの意見からは「お年寄り」や「山寺のお話し」などが、普段できない経験としてよいという評価が得られた一方、子どもたちからは「竹馬づくり」や「竹ぽっくり作り」などの工作作業について、同じく普段できない経験として高い評価が得られた。どちらも「田舎でしかできない経験」としてとらえられていることから、プログラム化するには十分な素材であるといえる。

## (2) 評価

この度、企画検討してきた中で、次年度に続きそうな下記のような地域と協働した体験プログラムができたなど、成果が表れている。

## ア 自然学習(夏・秋)

湯来町を流れる水内川を使って、川の生き物観察や川の流木を使った動物づくりなどの木工体験

## イ 農業体験(春・夏・秋)

耕作放棄地の再生の一環として農業体験を実施し、そば栽培や稲作体験(田植え・収穫)

## エ 草木染め(春・夏・秋・冬)

ヨモギやビワなどの自然の草木や、身近にある玉ねぎやみかん等を使って、ハンカチやストールの草木染め

## (5) 福山市まちづくりリーダー養成講座事業

## ■業務目的

地域の課題・資源に気付き、掘り起こしを進めるとともに、協働のまちづくりの実践活動を通じて持続可能なまちづくりを促し地域で街づくりに参画する人材や、リーダーシップが発揮できる人材を育成する。

## ■業務内容

## ・「ふくやま♥まちづくりCafe」の実施

対 象：福山市内のまちづくり推進委員、市民活動団体・NPOの方、  
 まちづくりに興味関心のある市民

会 場：福山市市民参画センター

参加者数：235名(第1回~第5回)

講座名 『ふくやままちづくりカフェ』(プレオープン)  
 日時 平成25年9月25日(水) 19:00~20:30  
 講座名 『第1回ふくやままちづくりカフェ』  
 日時 平成25年10月23日(水) 19:00~20:30  
 講座名 『第2回ふくやままちづくりカフェ』  
 日時 平成25年11月27日(水) 19:00~20:30  
 講座名 『第3回ふくやままちづくりカフェ』  
 日時 平成25年12月18日(水) 19:00~20:30  
 講座名 『第4回ふくやままちづくりカフェ』  
 日時 平成26年 1月22日(水) 19:00~20:30  
 講座名 『第5回ふくやままちづくりカフェ』  
 日時 平成26年 2月26日(水) 19:00~20:30

・「ふくやま♥まちづくり大学」ステップアップ講座 の実施

対象：福山市内のまちづくり推進委員、市民活動団体・NPOの方、  
 まちづくりに興味関心のある市民

会場：福山市市民参画センター

参加者数：179名(第1回~第4回)

講座名 第1回『持続的な組織運営を考える』  
 日時 平成25年11月16日(土) 13:30~17:00  
 講座名 第2回『情報発信・広報力を高めよう!伝えるコツをつかもう!』  
 日時 平成25年12月 7日(土) 13:30~17:00  
 講座名 第3回『NPO法人のつくり方』  
 日時 平成26年 1月18日(土) 13:30~17:00  
 講座名 第4回『やる気を高め、組織を活性化するファシリテーション』  
 日時 平成26年 2月22日(土)・23日(日) 各9:30~17:00

・「ふくやま♥まちづくり大学」公開講座 の実施

対象：福山市内のまちづくり推進委員、市民活動団体・NPOの方、  
 まちづくりに興味関心のある市民

会場：イコールふくやま(エフピコRiM地下2階)

参加者数：330名(第1回・第2回・第4回・第5回)

講座名 第1回『民×学×官「協働のまちづくり」を語る』トークセッション』  
 日時 平成25年10月19日(土) 14:00~16:00  
 講座名 第2回『地域資源を活かし、未来につなぐ里山の暮らし』  
 日時 平成25年11月23日(土) 14:00~16:00  
 講座名 第4回『自立・安心・交流~都市型福祉のこれから~』  
 日時 平成26年 2月15日(土) 14:00~16:00  
 講座名 第5回『もっと ふくやま好きになる!まちづくりワールドカフェ』  
 日時 平成26年 3月 1日(土) 14:00~16:00

**(6) 廿日市市まちづくり交流会 in はつかいち事業****■業務目的**

市民による市民のための交流会実施。実施に向けた市民グループの構築

**■業務内容**

- ・企画会議のファシリテート業務
- ・交流会実施に向けた相談対応
- ・交流会への参加

**(7) パナソニックNPO/NGOのための組織基盤強化ワークショップ****■業務目的**

組織が持続可能な発展をしていくために必要な組織基盤について、学ぶ・知る・考えるステップを通して、気づきや発見を得ることを目的とする。

- ・日 時 平成25年6月19日(水) 16:00~19:30
- ・会 場 ひろしまNPOセンター大学連携室(広島県民文化センター サテライトキャンパスひろしま内)
- ・主 催 NPO法人ひろしまNPOセンター
- ・共 催 株式会社Panasonic 認定NPO法人日本NPOセンター
- ・参加者 26人(定員30人)

**■内 容**

基調講演: NPOの基盤強化とは 早瀬昇 氏(日本NPOセンター代表理事)

事例報告: 基盤強化と活動の発展 山下 智也 氏(PLAY FUKUOKA)

竹中 庸子 氏(もちもちの木)

**(8) 中国環境パートナーシップオフィス(EPO ちゅうごく) 運營業務 【環境省<請負>】****■業務目的**

環境への負荷の少ない持続可能な社会を実現するためには、国民・民間団体・事業者等の様々な主体がそれぞれの担うべき役割と意義を理解し、適切な役割分担の下で相互に協力・連携を図り、自主的、自発的に環境保全活動に取り組んでいくこと、いわゆる環境パートナーシップの構築が重要である。

また、「環境教育等による環境保全の取組の促進に関する法律」(以下「環境教育等促進法」という。)第19条第1項において、「国は、国民、民間団体等が行う環境保全のための取組を効果的に推進するため、情報提供や助言、交流機会の提供及び協働取組の推進等を行う拠点としての機能を担う体制の整備に努めること」とされたことから、地域の環境パートナーシップの推進、各主体に対する情報や交流の場の提供を行うため、平成17年1月にEPO ちゅうごくが設置された。

本業務は、上記の役割を果たすため、地域の特性を踏まえて各種事業等を実施することにより、国民・民間団体・事業者・行政等、社会を構成する様々な主体による協働・連携の取組を拡充することを目的とする。

**■業3年目(平成25年度)の目標****○パートナーシップを活かした実践と成果**

地域における具体的な環境問題や地域課題に対して、パートナーシップを活かした実践取組を行い、問題解決や課題達成の成果を出す。また、そのために必要な人材育成や仕組みづくりを担う。

**○情報収集・発信の強化**

環境パートナーシップの推進に活用できる情報として、EPO ちゅうごく事業やその他の協働取組のノウハウやプロセス、成果等に関する情報を一般化・モデル化して発信する。

## ■基本方針

### （1）運営 1・2 年目からの継承・発展

2 年間で構築してきた各地域の中間支援組織や中核を担う主体とのパートナーシップを更に有機的に育てていくとともに、それらの主体との協働により環境問題や地域課題に取り組む。

### （2）事業の選択と集中

中国地方の現状や課題、ニーズを踏まえ、地域との対話を進めながら、重点的に取り組む対象（分野、地域など）の選択を行い、集中的な支援と戦略的な目標達成を図る。

### （3）EPO の強みを活かした事業展開

環境省や他省庁、EPO ネットワークとの連携や、エリアや分野、立場を越えたパートナーシップを活かして、一過性の行事ではなく、地域の自律的な協働を促す継続性のある事業展開を目指す。

### （4）環境教育等促進法の制度活用の推進

環境教育等促進法の周知・活用に向けて、法制度の活用に対する各主体の課題把握や全国の事例研究等を行い、先導的な事例を創出するための基盤づくりに取り組む。

## 1 環境パートナーシップ推進業務

各地域の中間支援組織、中核を担う団体等の交流の支援やそれらの団体と連携した事業を行い、県域を越えた多様な主体・分野をつなぎ、中国地方における中間支援機能の強化と環境パートナーシップの推進を図った。

### ア 交流支援

団体等の交流を支援するため、以下の業務を実施した。

- ① ESD の 10 年の最終年会合に向けた関係団体や各地域の中間支援組織等の情報・意見交換の実施
- ② 持続可能な社会をテーマにした会議・ワークショップ等の開催
- ③ 政策コミュニケーション（政策の形成、実施、評価、改善等）支援のための会議・ワークショップ等の開催
- ④ 持続可能な地域づくりを担う人材の育成に係るセミナー等の開催

### イ 他団体との連携強化

ESD に関し、関係団体との連携のため、ESD に係るワークショップ・フォーラム等を開催した。

- ① 「ESD 学びあいフォーラム」の開催及び「エコ・イノベーションメッセ 2013 in ひろしま」のブース出展
- ② 「サステナガールズ・トークセッション」の開催支援

## 1 環境パートナーシップ推進業務」まとめ

### 【成 果】

- 各地域の中間支援組織や中核を担う団体との協働事業を通じて、県域を越えた多様な主体・分野等の交流を促し、環境パートナーシップを推進することができた。また、ESD や政策コミュニケーションに係る理解が広まり、各地でそれらを担う人材が増えた。
- ESD や平成 26 年度に開催される「ESD に関するユネスコ世界会議」について、環境団体から一般市民まで幅広く周知できたとともに、中国地方で ESD の推進を担う団体等のネットワークが深まった。また、ポスト DESD（国連・持続可能な開発のための教育の 10 年）の推進体制に向けた情報及び意見を集約することができた。

## 【課 題】

- 交流支援や周知啓発に関しては一定の成果が得られたが、今後それらが地域の課題解決にどのように寄与するか、事業の実施結果の追跡及び成果の見える化が必要である。
- NPO や行政とのパートナーシップは推進することができたが、企業や研究機関等との関係構築及び連携が未熟である。

## 2 地域活動支援業務

各地域における課題解決や活動の発展のため、各地域の間接支援組織や中核を担う団体等との環境パートナーシップや蓄積したノウハウを活かして、環境教育等促進法に係る情報の周知・共有を図るとともに、同法に基づく取組の支援をはじめ、環境保全活動の発展や協働取組等を支援した。

- ①環境教育等促進法に係る情報・意見交換のための機会の提供・支援
- ②会議・交流等の場の提供
- ③照会・相談等

## 2 地域活動支援業務」まとめ

## 【成 果】

- 情報センターオフィスについて、来館者が親しみやすく利用しやすい施設・設備の維持・管理の工夫を行った結果、会議、活動、交流等の場として昨年度を上回る利用があった。
- 相談業務を通じて、主に NPO や行政による環境保全活動等の事業協力（企画、広報、運営）及び人材紹介・育成等を行うことができ、各地で環境パートナーシップによる活動が広まった。

## 【課 題】

- 環境教育等促進法に関して、中国地方及び全国の状況を把握することはできたが、同法に基づく取組の促進のための有効な手立てをまだ打ち出せていない。

## 3 地域活性化を担う環境保全活動の協働取組推進業務

環境省総合環境政策局民間活動支援室の公募事業である「平成 25 年度地域活性化を担う環境保全活動の協働取組推進事業」において、中国地域（水島地域）の事業が採択されたことから、支援事務局として当該事業に参画し、公益財団法人水島地域環境再生財団の伴走支援を行った。

- ①採択団体の実施事業への支援
- ②連絡会の実施
- ③全国支援事務局等との連携

## 3 地域活性化を担う環境保全活動の協働取組推進業務」まとめ

## 【成 果】

- 採択団体（公益財団法人水島地域環境再生財団）に対して幅広い支援を展開することができ、実施事業の推進に寄与することができた。
- 全国支援事務局等の連携を通じて、協働取組の支援のためのノウハウや情報を整理・蓄積することができ、それらが即時に本業務に反映された。
- 平成 25 年度地域活性化を担う環境保全活動の協働取組推進事業を通じて、明確な協働体制のもとで地域の問題解決及び課題達成を支援することができた。

## 【課 題】

- 採択団体への具体的な支援内容として、企業との対話・連携に関して支援能力が不足している。
- 地域活性化を担う環境保全活動の協働取組推進事業の成果や EPO ちゅうごくの役割、蓄積された協働ノウハウを、中国地方の各主体に対して周知・共有することで、来年度以降の当事業への応募及び環境パートナーシップの促進につなげる。

## 4 情報センター業務

環境保全活動等に係る情報、事例を収集し、EPO 事業及び各主体の取組において有効に活用できるための情報整理及び加工（モデル化、一般化、見える化等）を行い、発信した。併せて環境保全活動等のための情報の提供を行った。

## ①重点的に発信に努める内容

平成 23・24 年度に実施した環境パートナーシップのニーズ把握調査等の結果に基づき、ニーズの高い下記の情報について重点的な収集・発信に努めた。

## ②情報の収集、整備

アの情報を発信するために、各方面から情報を収集した。収集に当たっては Web サイト、メルマガ等を活用するとともに、積極的に地域内に出かけ情報収集を行った。収集した情報については、記録・整理し、必要に応じてデータベース化した。また、メールマガジン等による情報の発信とその活用状況及び成果についても整理した。

## ③情報の発信

収集・整備した情報を分析し、環境保全活動、協働取組等の推進に有用な情報は必要に応じて加工し、以下により発信した。

ア) Web サイト

イ) メールマガジンを月 1 回発行した。（配信者数の目標値：526 人／前年比 20%増、前年 438 人）

ウ) EPO の業務内容を周知するためのパンフレットを作成（A4、3 つ折り、1,000 部）し、配布した。

エ) ニュースレター（紙媒体）を年間 2 回発行した。

オ) EPO スペースにおける環境活動展示

カ) その他、各種媒体を活用した情報発信を、中国各県の NPO 中間支援センターや地域支援センターに協力依頼して行う。

## ④Web サイトの管理・運営

Web サイトの内容をより一層充実させ、適切に情報を整備、発信するために、以下の業務を行った。（ホームページのアクセス数の目標値：年間 14,639 件／前年比 20%増、前年 12,199 件）

## 4 情報センター業務」まとめ

## 【成 果】

- 他団体主催会議等への参加や Web サイト・メルマガの活用、団体等からの情報提供を通して、効率的かつ効果的な情報収集を行うことができた。
- 平成 23・24 年度に実施した環境パートナーシップのニーズ把握調査等の結果に基づき、ニーズの高い情報について重点的に収集・発信することができた。
- メールマガジン、EPO スペースにおける環境活動展示、収集情報のホームページへの掲載について、目標値を上回る発信を行うことができ、中国各地にニーズの高い情報が重点的に届いた。
- Web サイトのリニューアルやメールマガジンの登録促進、情報センターオフィスにおける展示の改善等により、情報発信の充実を図ることができ、ホームページのアクセス件数の増加等の成果につながった。

**【課題】**

- どの情報がどのように役立ったかなど、情報発信の成果を計る仕組みの検討や、その結果を情報収集・発信に反映させていく必要がある。
- 環境教育等促進法に関して、中国地方及び全国の情報を収集することはできたが、同法に基づく取組の促進のための情報をまだ発信できていない。
- 環境保全活動等の事例やEPO ちゅうごく事業において、有効に活用できるための情報整理及び加工（モデル化、一般化、見える化等）の更なる工夫・改善が必要である。

**5 他団体主催会議等への参加による連携及び情報収集等**

他団体との連携又は意見交換若しくは他団体の活動支援及び情報収集のため、環境保全活動又は環境パートナーシップに関し全国及び中国地域の主要な会議等に参加した。

**5 他団体主催会議等への参加による連携及び情報収集等」まとめ****【成果】**

- 全国及び中国地方における他団体主催会議等への参加を通じて、事業への協力・連携や効果的な情報収集、EPO ちゅうごくの周知を行うことができ、各主体・関係機関によるネットワークが拡充した。

**【課題】**

- 他団体主催会議等について、年度当初で把握できる情報は少なく、年度途中から会議やイベント等への参加依頼のニーズが増えてくるので、計画性・対応性が求められる。

**6 地球環境パートナーシッププラザ（GEOC）及び他の地方EPO との連携・協力**

GEOC 及び各地方EPO と連携・協力し環境パートナーシップによる取組を拡大するものとして、全国EPO 連絡会議への参加とともに、同会議の岡山での開催に係るコーディネートを行った。併せて、EPO ネットワーク共通業務を行った。

- ①平成25年度全国環境パートナーシップオフィス連絡会議をはじめとする以下の会議に出席し、関係者との意見交換等を行った。
- ②EPO インターンシップ

**6 地球環境パートナーシッププラザ（GEOC）及び他の地方EPO との連携・協力」まとめ****【成果】**

- 第2回全国EPO 連絡会及び岡山現地研修のコーディネート・運営を通じて、GEOC 及び各地方EPO との意見交流、岡山地域の環境保全活動やESD 取組についての情報共有を行うことができた。また、岡山地域の各主体とのネットワークを深める機会となった。
- 四国EPO の運営委員会への出席やEPO インターンシップにより、EPO 間の人材・ノウハウ交流や今後の連携に向けた関係が構築された。

**【課題】**

- 全国事業としての成果や各EPO の取組促進のために、連携・協力の継続と創出が求められている。

**7 EPO ちゅうごくの運営等****①運営検討委員会**

本業務は請負団体単独の実施ではなく、可能な限りNPO/NGO、行政、企業等、関係者の参画を得て、連携・協働にて実施する必要がある。そのため、「中国環境パートナーシップオフィス運営検討委員会（以下「運営検討委員会」という。）」を設置し、幅広い関係者の参画を得て事業を推進した。

## ②環境事務所とのミーティング

業務の進捗状況の確認のため、月に 2 回程度スタッフ及び中国四国地方環境事務所広島事務所担当官とのミーティングを行った。また、中国四国地方環境事務所環境対策課担当官（岡山）とミーティングを行い、事業の進捗状況の確認や方向性等を検討・協議した。

## ③人員・スタッフ

基本 3 名を常勤とする。勤務体制は中国四国地方環境事務所と協議して定めるものとし、EPO 職員勤務規定に基づくものとする。

## ④オフィスの開館時間等

開館時間等は、原則火～土曜日の 10:00～19:00 とし、中国環境パートナーシップオフィス（EPO ちゅうごく）運営要領を策定済み。

## ⑤オフィスの維持・管理

オフィスの設備等維持・管理するために、清掃や点検、修繕、省エネルギー、安全・防災対策等、必要な業務を行った。

## ⑥事業実施報告書の作成

## 7 EPO ちゅうごくの運営等」まとめ

## 【成 果】

○運営検討委員の事業への参画・協力・助言や地方環境事務所とのミーティング、常勤 3 人のスタッフ体制を通じて、効果的な事業運営を行うことができた。

## 【課 題】

○中国四国地方環境事務所（岡山・広島・高松）との連携を深めるための情報共有を図る必要がある。

## 8 活動成果等の取りまとめ

EPO ちゅうごく第 3 期（平成 23 年度～25 年度）における活動成果、実施体制の総括、中国地域における環境保全活動、協働取組等におけるニーズ・課題と EPO が担うべき役割及び平成 26 年度以降に EPO ちゅうごくが実施すべき事業をまとめた「EPO ちゅうごくの活動成果と今後のあり方」を、運営検討委員会の助言を受け、平成 26 年 1 月下旬までに取りまとめる。

## 9 平成 25 年度管理運営計画の策定

標記管理運営計画を運営検討委員会及び中国四国地方環境事務所担当官と協議のうえ、作成し提出した。

## 10 その他

①中国四国地方環境事務所等関係機関との連携

②平成 25 年度 EPO ちゅうごく評価委員会

## 10 その他」まとめ

## 【成 果】

○中国四国地方環境事務所等関係機関との連携により、中国地域エネルギー・温暖化対策推進会議への参画や環境イベント等への参加を行い、環境啓発、EPO ちゅうごく事業等の周知を図ることができた。

## 【課 題】

○中国地域エネルギー・温暖化対策推進会議の Web サイトの運営について、アクセス数や活用を促進するための改善策の検討が必要である。

## 5. ネットワーク・連携推進事業

### (1) 地域調整員活動

(1) 地域別・テーマ別のNPOの課題の共有化やネットワーク化の推進

- ・資源循環(寄付・助成・寄贈等)

①アサヒビール株式会社中国統括本部「広島海の環境保全プロジェクト」

(5) 広島県共同募金会・社会福祉協議会との連携を促進する。

- ・広島県共同募金会「社会問題解決プロジェクト」への協力(継続)
- ・広島県共同募金会助成事業「家庭と地域のための育ちあうコミュニケーション講座」  
NPO法人キャリアネット広島との連携事業

(6) 障害児者と手をつなぐ県民会議への参加

(7) 大学との連携

- ・UE-net(大学環境ネットワーク協議会)の運営支援(広島県庁との連携による学生ネットワークへの助言等)

(8) 労働組合・労働福祉団体、ワーカーズコープ等、協同組合との連携を図る。

広島県労働者福祉協議会、中国労働金庫広島県本部、(財)広島県勤労者福祉財団と連携

(9) 東日本大震災に関わる被災地・被災者支援を多様な主体と連携しすすめていく。

- ・広島市被災者支援ボランティア本部(事務局:広島市社協ボランティア情報センター)の構成団体

## 6. その他目的を達成するために必要な事業

### ○会としての引受・参加の事項

- ・広島県プラチナ世代支援協議会 参加

### ○会議・NPO関連行事などへの参加

- ・中国5県中間支援センター連絡会議

第1回 2013年4月19日(金)ひろしまNPOセンター(広島県民文化センター6階)

参加:中村、山本

(国土交通省中国整備局・経済産業省中国経済産業局・環境省中国四国地方環境事務所参加)

第2回 2013年9月9日(月)ひろしまNPOセンター(広島県民文化センター6階)

参加:中村、山本、松村

第3回 2014年2月15日(土)とっとり県民活動センター

参加:中村

## ○委員の派遣

- 安藤周治 広島県生涯学習審議会 委員  
 広島県新しい公共運営委員会 委員  
 広島県ピース・アーチ・ひろしまプロジェクト実行委員会委員  
 国土交通省水源地域活性化調査報告会アドバイザー  
 水源地域振興アドバイザー事業島根県尾原ダム担当  
 生物多様性に関する円卓会議メンバー  
 総務省 ICT 地域活性化懇談会委員  
 水源地域アドバイザー派遣事業佐賀県吉野ヶ里町担当  
 国土交通省水に親しむ旅コンクール審査会審査委員長  
 広島県生涯学習審議会副委員長  
 過疎問題懇談会構成員  
 国土交通省水源地域リーダー養成研修会講演・アドバイザー  
 東城町活性化懇談会アドバイザー  
 銀山街道沿線会議委員  
 中国 5 県地域づくり連携サミットアドバイザー
- 三好久美子 広島県医療費適正化計画検討委員会 委員
- 中村隆行 内閣府地域活性化伝道師  
 日本 NPO 学会（第七期）理事  
 広島県平和貢献ネットワーク協議会 幹事  
 広島県ピース・アーチ・ひろしまプロジェクト実行委員会 NGO 部会委員  
 広島県共同募金会社会課題解決プロジェクト運営委員  
 広島県社会福祉協議会被災者生活支援ネットワーク委員  
 自治労広島県職員労働組合 地域政策センター 運営委員  
 呉市市民協働推進委員会 委員  
 三原市市民活動推進委員会 委員  
 尾道市市民協働推進委員会 委員  
 広島市男女共同参画審議会 委員  
 広島市災害時ボランティア連絡調整会議 委員  
 広島市社会福祉協議会広島市ボランティア情報センター 運営委員
- 平木 久恵 広島市都市計画審議会 委員  
 橋本美知子 広島市緑化推進審議会 委員

## 第2号議案

## 平成25年度活動計算書

自平成25年4月1日 至平成26年3月31日

特定非営利活動法人ひろしまNPOセンター

(単位:円)

科 目	金 額	
【経常収益】		
【受取会費】		
正会員受取会費	718,000	
賛助会員受取会費	188,000	906,000
【受取寄付金】		
受取寄付金	7,576,795	7,576,795
【受取助成金等】		
受取助成金	5,840,985	
受取補助金	2,852,950	8,693,935
【事業収益】		
事業収益	8,523,193	
受託事業収益	49,441,001	57,964,194
【その他収益】		
受取利息	2,238	
雑収益	8,071	10,309
経常収益計		75,151,233
【経常費用】		
【事業費】		
(人件費)		
給料手当(事業)	22,569,340	
臨時雇賃金(事業)	82,400	
通勤費(事業)	884,955	
法定福利費(事業)	3,017,878	
人件費計	26,554,573	
(その他経費)		
売上原価	355,318	
諸謝金(事業)	2,625,320	
業務委託費(事業)	5,401,750	
印刷製本費(事業)	1,826,824	
会議費(事業)	260,965	
旅費交通費(事業)	4,598,132	
通信運搬費(事業)	1,069,441	
消耗品費(事業)	1,279,407	
図書購読費(事業)	136,042	
水道光熱費(事業)	434,102	
リース料(事業)	40,950	
地代家賃(事業)	1,011,086	
賃借料(事業)	1,857,223	
広告宣伝費(事業)	2,761,500	
保険料(事業)	24,450	
租税公課(事業)	421,351	
支払手数料(事業)	2,789,447	
支払助成金(事業)	6,515,309	
雑費(事業)	203,626	
その他経費計	33,612,243	
事業費計		60,166,816

【管理費】			
(人件費)			
給料 手当	5,832,180		
通 勤 費	595,260		
法定福利費	1,462,375		
人件費計	7,889,815		
(その他経費)			
業務委託費	256,725		
印刷製本費	600,906		
旅費交通費	78,155		
通信運搬費	812,458		
消耗品 費	63,487		
水道光熱費	412,469		
地代 家賃	919,164		
賃 借 料	253,144		
諸 会 費	105,300		
支払 報酬	660,622		
リース 料	216,678		
租税 公課	332,310		
支払手数料	51,319		
支払 利息	433,799		
雑 費	302,137		
その他経費計	5,498,673		
管理費 計		13,388,488	
経常費用 計			73,555,304
当期経常増減額			1,595,929
【経常外収益】			
過年度損益修正益		108,149	
経常外収益 計			108,149
【経常外費用】			
過年度損益修正損		1,403,497	
経常外費用 計			1,403,497
税引前当期正味財産増減額			300,581
法人税、住民税及び事業税			70,359
当期正味財産増減額			230,222
前期繰越正味財産額			1,679,250
次期繰越正味財産額			1,909,472

※ その他の事業は実施を規定していません

## 平成25年度 貸借対照表

平成26年 3月31日 現在

特定非営利活動法人ひろしまNPOセンター

(単位:円)

科 目	金 額	
《資産の部》		
【流動資産】		
現金	935,798	
小口現金	2,653	
普通預金	6,579,788	
定期預金	50,000	
現金・預金計	7,568,239	
未収金	30,687,103	
売上債権計	30,687,103	
棚卸資産	766,904	
棚卸資産計	766,904	
前払費用	878,907	
立替金	101,851	
仮払金	2,959,572	
短期貸付金	1,670,000	
その他流動資産計	5,610,330	
流動資産合計		44,632,576
【固定資産】		
(有形固定資産)		
什器備品	493,254	
有形固定資産計	493,254	
(無形固定資産)		
電話加入権	152,880	
ソフトウェア	140,132	
無形固定資産計	293,012	
固定資産合計		786,266
資産の部合計		45,418,842
《負債の部》		
【流動負債】		
買掛金	29,088	
未払金	7,754,674	
前受金	167,521	
短期借入金	29,000,000	
預り金	6,558,087	
流動負債計		43,509,370
負債の部合計		43,509,370
《正味財産の部》		
前期繰越正味財産額	1,679,250	
当期正味財産増減額	230,222	
正味財産の部合計		1,909,472
負債・正味財産合計		45,418,842

## 平成25年度 財産目録

平成26年 3月31日 現在

特定非営利活動法人ひろしまNPOセンター

全事業所

(単位:円)

科 目	金 額		
《資産の部》			
【流動資産】			
現 金	935,798		
小口 現金	2,653		
普通 預金	6,579,788		
定期 預金	50,000		
現金・預金 計	7,568,239		
未 収 金	30,687,103		
棚卸 資産	766,904		
前払 費用	878,907		
立 替 金	101,851		
仮 払 金	2,959,572		
短期貸付金	1,670,000		
流動資産合計		44,632,576	
【固定資産】			
(有形固定資産)			
什器 備品	493,254		
有形固定資産 計	493,254		
(無形固定資産)			
電話加入権	152,880		
ソフトウェア	140,132		
無形固定資産 計	293,012		
固定資産合計		786,266	
資産の部 合計			45,418,842
《負債の部》			
【流動負債】			
買 掛 金	29,088		
未 払 金	7,754,674		
前 受 金	167,521		
短期借入金	29,000,000		
預 り 金	6,558,087		
流動負債 計		43,509,370	
負債の部 合計			43,509,370
正味財産			1,909,472

特定非営利活動法人ひろしまNPOセンター

2013年度 監査報告書

特定非営利活動法人ひろしまNPOセンターより提出された

1. 2013年度事業報告書
2. 2013年度活動計算書
3. 2013年度貸借対照表
4. 2013年度財産目録

を監査した結果、いずれも正確にして適正に処理されていることを  
認めます。

2014年 4月 20日

監事

久望 信雄



監事

藤川 晴基



### 第3号議案 2014～2015年度役員改選（案）

理事	安藤 周治	NPO 法人ひろしまね理事長
理事	五百竹 宏明	県立広島大学経営情報准教授
理事	児玉 宏	NPO 法人コーチズ代表理事
理事	坂本 和子	NPO 法人キャリアネット広島理事長
理事	竹野 宗彦	中国経済連合会部長
理事	茶山 ちえ子	NPO 法人 WAC 広島ふれあいセンター理事長
理事	中村 隆行	NPO 法人ひろしまNPOセンターセンター長
理事	三好 久美子	余暇開発士
理事	村田 民雄	NPO 法人 e&g 研究所 理事長
理事	山本 一隆	社会福祉法人中国新聞社会事業団理事長
理事	田中 豊光	広島商工会議所総務部長
理事	北島 國廣	広島県労働者福祉協議会事務局長
監事	久笠 信雄	弁護士
監事	藤川 晴基	税理士

#### 新任理事

	川口 隆司	NPO法人コミュニティリーダーひゅーるぽん理事長
	金谷 信子	広島市立大学准教授
	山本 祐二	NPO 法人ひろしまNPOセンター事務局長

## 第4号議案 2014年度事業計画（案）

（平成26年4月1日～平成27年3月31日）

### 1 2014年度の目標

- （1）財政基盤及び組織基盤の強化再構築
- （2）自主事業による安定経営（会費・寄付の拡大）
- （3）課題解決に向けた事業展開を目指す

### 2 2014年度の基本方針

- （1）「中期ビジョン」に基づき「中期経営戦略」ロードマップを策定し、事業展開の見直しを図る
- （2）自主事業の企画・実施により、会費・寄付の拡大に取り組むと共に、公益財団法人コミュニティ未来創造基金ひろしまの基金募集活動の開始
- （3）中間支援組織としての支援強化と課題解決に取り組むリーディング事業の実施

### 3 センターの運営に関する事項

#### 1. 通常総会の開催（第16回）

日時 2014年5月24日（土） 13:30～16:00

会場 県民文化センター6F サテライトキャンパス（広島市中区大手町1丁目5-3）

議題 (1)2013年度事業報告・決算 (2)2014年度事業計画・予算  
(3)中期ビジョン見直しと基盤強化にむけた改革案について

#### 2. 理事会の開催

第1回 2014年5月2日（金） 14:00～16:30

会場 県民文化センター6F サテライトキャンパス

議題 (1)2013年度事業報告・決算 (2)2014年度事業計画・予算  
(3)2014年度の事業推進体制 (4)基盤強化、中期ビジョン見直しその他（総会日程等）

※今後の開催予定 第2回 2014年7月 第3回 2014年10月  
第4回 2015年1月 第5回 2015年3月

### 4 センターの事業に関する事項

#### 1. 情報収集・提供に関する事業

- ①県内NPOの情報収集及び発信による会員獲得
- ②データベース構築・活用、ITによる業務改善の推進
- ③情報発信・ホームページの充実—有用な情報の受発信

## 2. 各種団体の運営支援事業

### ①資金循環システムの構築

- ・中国ろうきんNPO 寄付システム
- ・中国ろうきんNPO 立上げ助成金
- ・ひろしまNPO サポート倶楽部
- ・広島海の環境保全活動助成事業（株式会社アサヒビール・広島県との提携事業）
- ・広島県共同募金会「社会課題解決プロジェクト」
- ・大和リース「フレスポ西風新都社会貢献活動」プロジェクト

### ②組織基盤強化

- ・NPO 法人日本NPO センター等、寄付・助成プログラムへの協力  
損保ジャパン「SAVE JAPAN」（環境）  
Panasonic 組織基盤強化ワークショップ
- ・什器備品等の寄贈プログラム  
ひろしまイーパーツPC リユース事業  
企業等からの什器備品の仲介

### ③人材育成・ノウハウの提供

- ・福山市まちづくりリーダー養成講座事業
- ・湯来交流体験プログラム事業
- ・プロボノ登録と受入NPO 募集・マッチング

### ④拠点提供

- ・NPO・市民活動団体拠点提供事業（広島市市民局市民活動推進課との連携）
- ・広島市創業支援事業

## 3. 調査・研究・政策提言事業

- ①県内NPOを代表し、社会的課題や存在意義を発信する
- ②NPOに関する政策提言・アドボカシー

## 4. 啓発・研修事業

- ①相談・NPO経営等の個別支援及び、講師派遣
- ②NPO・人材育成に関する研修・セミナー
- ③大学連携推進事業
- ④グローバル人材の育成に向けたESDの推進事業（文部科学省）
- ⑤協同労働プラットフォーム事業

## 5. ネットワーク・連携推進事業

- ①NPO 法人との協働事業の開発・実施
- ②広島 NGO ネットワーク
- ③中国 NGO ネットワーク
- ④災害救援復興支援のためのネットワーク構築事業
- ⑤西中国山地観光施設等連協議会
- ⑥湯来のまち再生プロジェクト協議会

## 6. その他目的を達成するために必要な事業

- ①講師・委員の派遣
- ②会議・NPO 関連行事の参加
- ③協力・連携事業の推進

第5号議案		2014年度(平成26年度)「特定非営利活動に係る事業会計」活動予算書(案)	
		平成26年4月1日 から 平成27年3月31日まで	
		特定非営利活動法人ひろしまNPOセンター	
科 目 ・ 摘 要		金 額	
<b>I 経常収益</b>			
1 受取会費			
正会員受取会費(200口×5,000円、10口×30,000円)	1,300,000		
協力会員受取会費(100口×3,000円)	300,000	1,600,000	
2 事業収益			
情報収集提供事業	20,000		
共同事務所運営事業	2,000,000		
相談・講師派遣事業	700,000		
研修セミナー事業	100,000		
グローバル人材の育成に向けたESDの推進事業(文部科学省)	2,500,000		
環境省ESD人材育成事業	15,000,000		
コミュニティスポーツ調査研究事業	3,500,000		
多様な主体による地方部の地域づくり活動支援体制構築事業(国土交通省)	3,500,000		
災害救援福島支援プロジェクト事業	2,000,000		
「協同労働」プラットフォーム事業	500,000		
介護保険改正勉強会(全共済)	100,000		
湯来交流体験プログラム事業	1,800,000		
広島市創業支援事業	1,280,000		
福山市まちづくりリーダー養成講座事業	1,800,000	34,800,000	
3 受取寄付金・受取助成金			
受取助成金(SAVEJAPAN)	1,100,000		
受取寄付金(アサヒ海の環境保全、ろうきん・サポート寄付等)	8,300,000	9,400,000	
4 その他収益			
受取利息・雑収益	10,000	10,000	
経常収益計(A)			45,810,000
<b>II 経常費用</b>			
1 事業費			
情報収集提供事業	20,000		
共同事務所運営事業	2,000,000		
相談・講師派遣事業	700,000		
研修セミナー事業	100,000		
グローバル人材の育成に向けたESDの推進事業(文部科学省)	1,900,000		
環境省ESD人材育成事業	12,700,000		
コミュニティスポーツ調査研究事業	2,500,000		
多様な主体による地方部の地域づくり活動支援体制構築事業(国土交通省)	3,300,000		
災害救援福島支援プロジェクト事業	1,900,000		
「協同労働」プラットフォーム事業	400,000		
介護保険改正勉強会(全共済)	80,000		
湯来交流体験プログラム事業	1,400,000		
広島市創業支援事業	1,180,000		
福山市まちづくりリーダー養成講座事業	1,600,000		
受取助成金配分事業	800,000		
寄付金配分事業	6,600,000		
事業費計		37,180,000	
2 管理費			
(1)人件費			
役員報酬	0		
給料手当	4,800,000		
法定福利費	715,000		
人件費計	5,515,000		
(2)その他経費			
旅費交通費	100,000		
通信運搬費	350,000		
消耗品費	100,000		
地代家賃	1,080,000		
貸借料	250,000		
研修費	50,000		
支払報酬	400,000		
諸会費	50,000		
租税公課	500,000		
雑費	100,000		
その他経費計	2,980,000		
管理費計		8,495,000	
経常費用計(B)			45,675,000
当期正味財産増減額(A)-(B)			135,000
前期繰越正味財産額			1,909,472
次期繰越正味財産額			2,044,472